

科目	動物臨床看護学各論Ⅲ（歯科学）		
担当講師 西川 文 実務経験有 歯科医師 歯科医院副院長 歯科大卒業後歯科医院で歯科診療に従事			
開講年次	授業形態	選択/必修	授業時間
動物看護、動物管理学科 1年次後期	講義	必修	8
授業目標 生命維持の始まりである「口腔機能」と全身機能の相互関係を理解する。歯科疾患の原因や発生機序を知った上で、治療法・診療補助法・予防法・ケアの方法について学習する。動物それぞれの特性を理解し、健康を維持するための看護歯科学について学ぶ。			
成績評価の方法 評価の基準はレポート及び筆記試験による。また本科目受験には出席率が3分の2以上であることが必要。試験は80～100点がA評価、70～79がB評価、60～69までをC評価とし、60点未満は再試とする。再試においては80点以上を合格とし評価はCとなる。			
教 材 講師資料 動物看護の為の小動物歯科学（ファームプレス） 犬と猫の歯科 ベーシック編（学窓社）			
授業計画 毎週月曜日 毎週金曜日 1限目 9：10～10：40（A班、B班）			
回	テーマ	授業内容	
1	I 口腔解剖・生理学①口腔器官の役割	口腔器官の解剖・昨日・役割を学ぶ	
2	②動物の歯科疾患	解剖学的特性と疾病の種類を学ぶ	
3	③全身との関連	口腔と全身の相互関係を学ぶ	
4	II 口腔疾患各論 ①齲蝕と歯周病	齲蝕・歯周病の種類・分類・原因について学ぶ	
5	②齲蝕と歯周病の治療	齲蝕・歯周病の治療法について学ぶ	
6	③動物の齲蝕と歯周病	動物の齲蝕・歯周病の特性・治療法について学ぶ	
7	④口腔外科疾患	疾病の種類・原因・予後について学ぶ	
8	⑤口腔外科治療	外傷・腫瘍・先天異常などの治療法を学ぶ	
9	⑥動物の口腔外科治療	外傷・腫瘍・先天異常などの動物の治療法を学ぶ	
10	III 口腔疾患の治療 ①口腔内診査・診断	口腔内診査の種類・手順・基準について学ぶ	
11	②治療法	実際の治療・診療補助・看護について学ぶ	
12	③動物の治療と看護	動物の治療・診療補助・看護について学ぶ	
13	④予防歯科	口腔疾患の対策・予防法・ホームケアについて学ぶ	
14	まとめ		